

令和 7 年度第 1 回 高知地方労働審議会議事要旨

審議開始日

令和 7 年 8 月 6 日

議決日

令和 7 年 8 月 18 日

(持ち回り審議による)

議題

「高知県中部地域雇用開発計画」について

議事概要

第 1 回高知地方労働審議会は、持ち回り審議により開催され、「高知県中部地域雇用開発計画」については、過半数以上の賛成で妥当と認める。

なお、議題について委員から提出された御質問・御意見（○）と、御質問に対する事務局の回答・見解（●）は、以下のとおりです。

ー公益代表委員ー

○中部地域は高知市からも近いイメージもあり、いの・土佐市などは若い世代が住居を構える話もよく耳にする。伝統的な土佐和紙産業を若い世代が発展させてくれる事に期待したい。

他県の人からの声として、高知の果物がとてもおいしいとよく聞く。園芸産地として、温暖な気候に合わせた新しい品種への取組にも期待したい。

○具体的目標として、「概ね 7 1 5 人の新たな雇用の創出」が挙がるが、その根拠が示されておらず、目標の妥当性が検証できない。

第 4、1 で具体的な取組として（１）産業基盤の整備から（４）地域資源を活かした雇用開発への取組があるが、どの項目で何人雇用創出するのか、具体的な数値として示せると説得力を増すものと思われる。また、計画策定と同時に計画の実効性を検証できるように準備しておけば、計画への信頼度も上がるし PDCA サイクルも上手く回って、次の計画等にもつながっていくのではないかと。3 で労働局との連携策が挙げられているが、これらは県全体の取組ではないか。中部地域独自のとまでは言わないが、地域としてどの項目を重点的に実施するのか、位は示した方が良くないか。

○雇用機会の開発を進めるにおいては、新規企業・産業の誘致は大切である。一方で、慢性的に人手不足の産業において、基本的な賃金アップをはじめ、人材育成、キャリアアップ制度の整備、ロボットや ICT 技術の導入による身体的負担軽減や事務負担の軽減など、働き続けることができる環境整備も大切であろう。

本地域の年齢別人口をみると、15～64 歳の割合が県全体よりも少なく、65 歳以上の割合が多い（令和 7 年 7 月高知県推計人口）。高齢化の進んだ本地域では、医療、福祉分野の産業別の構成比が高い。地域包括ケアシステムの構築に向けても、地域の医療、福祉を担う人材の確保が求められる。福祉分野においては、重労働、低賃金などの理由から、慢性的な人手不足と言われており、おそらく本地域も同様と考える。

助成金、補助金の拡充など、本地域で新たに雇用した人材の定着率を高める方策も並行して進めていただきたい。

○本地域において、高齢の親と就職していない子世帯が経済的・社会的に困窮する状態（いわゆる 8050 問題）が顕在化している。障害のある人もない人もともに働く社会を実現すべく、高齢者や障害者など多様な人材が働きやすい環境を整備する方策を進めていただきたい。

医療、福祉に次いで産業別の構成比が高い産業は農業となっている。「担い手対策として、就農しやすい環境整備などを推進する」（8 頁）ことを進め、農福連携など、多様な人材が働ける雇用機会の開発を進めていただきたい。

●新たな雇用の創出（715 人）については、「高知県中部地域雇用開発計画」第 4 の 1 の具体的な取り組みに関連する数値ですが、これは、県が取り組んでいる「産業振興計画」等による県全体の目標値を基に、中部地域の労働力人口により按分して算出しています。また、その実効性の検証については、産業振興計画の進捗状況の評価、検証、修正・追加などに関する検討を行う、産業団体の代表者や学識経験者等からなるフォローアップ委員会における検討結果に基づき行うこととしています。

《目標値の算出方法：下記の①②により算出》

①産業振興計画における各分野（農業、林業、水産業、商工業）の県全体の新規就業者数・雇用者数等の目標や実績（見込（非公表）含む）から、中部地域の労働力人口の割合（県全体の約 18.7%）により算出した数値

②国の地域雇用開発助成金の活用による、過去数年間の雇用創出人数

〈参考〉第 5 期産業振興計画 ver. 2（産業成長戦略）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025042800133/>

●中部地域は高知市から近く、周辺施設等も充実していることから、それらを

うまく活用し、各産業分野における雇用の拡大や就職支援を行っていきます。
「高知県中部地域雇用開発計画」第4の3に記載の取り組みを進めていく中で、特に当地域における産業振興計画の地域アクションプランに関連する取り組みに力を入れていくこととしています。

●慢性的な人手不足への対応や多様な人材が働きやすい環境を整備する方策として県では、①業種、地域、従業員規模ごとの支援を強化し、ワークライフバランス推進企業認証制度のさらなる普及に取り組むことで、働きやすい職場の拡大を図ること、②女性や若者、高齢者など多様な人材が活躍できる職場環境づくりを進める県内企業の支援を強化することで、人材の確保、定着に寄与することを目標とし、多様な人材が定着・活躍しやすい労働環境の整備に向けた取り組みを進めていきます。

※別紙参考資料（「高知県元気な未来創造戦略」より抜粋）参照

－労働者代表委員－

○当地域においても人口減少幅は小さくない。ぜひ地域特性に応じた雇用創出の促進策を講じることを通じて、人口減少の抑制にもつながる事を期待する。
○いの公共職業安定所管内及び須崎公共職業安定所管内の現状に鑑み、高知県中部地域雇用開発計画は妥当と判断します。

－使用者代表委員－

○地域資源を活かした雇用開発への取組

各分野で雇用創出については、全てにおいて女性活躍が期待されている。若い人がこの地域で働き、子どもを育て、住み続けて将来が見えるのか。

先ず生活の便利さコンパクトを優先し、子ども・子育て支援、教育現場支援（人材分野の事業）の開発と取組で雇用を考えていただきたいです。どこの県も同じ内容で若い人の取り合いのように感じます。

高知県中部地域は環境も良く安全であり子育てには最高であり働く人も充実できる事を一斉に掲げてほしいと考えます。

○人口減少や都心部との賃金格差など様々な要因から年々企業の採用は厳しくなっており、ハローワークだけでなく近年増加している有料の求人媒体を頼る当該地域の事業所も見受けられます。また、雇用開発の方向性を決めるのは有効求職者の状況（スキルや希望）からマッチする産業を照らし合わせ、該当する既存企業や周辺の県内企業への人材流入に力を入れて地元産業の発展や県外流出の歯止めに繋げてほしいと思います。

○当該地域の資源を活かし、農業、林業、水産業、商工業、観光における雇用

創出に資する取組の推進を期待します。

●県外からのUターン・Iターン企業を数多く呼び込み、事業者の生産性向上による賃上げ環境の促進や、非正規雇用労働者の正規化等による安定的な雇用の創出により、女性や若者の所得向上を推進し、県内就職の促進に取り組むことで、女性や若者の地域への定着を目指します。

●県では、「高知県元気な未来想像戦略」を策定し人口減少問題の克服に向け、「若者の定着・増加」「婚姻数の増加」「出生数の増加」の三つの観点から、施策を抜本強化していくこととしています。

魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげるためには、本県に多くの若者が戻ってくることが出来る、また県外に出て行かなくても誇りを持って働くことが出来るよう、県内にも魅力ある仕事を創出し、若者、とりわけ女性の県内就職を促進するとともに、県外からも数多くのUターン・Iターンを呼び込むための取組が必要です。このため、事業者の生産性向上による賃上げ環境の促進や、非正規雇用労働者の正規化といった安定的な雇用の創出などによって若者の所得向上を推進し、IT・コンテンツ企業をはじめとする事務系企業の誘致を更に進めることとします。加えて、県外の若者や女性向けのUターン施策を強化するとともに、就職や転職に伴う県外転出の抑制対策等により、移住・定住対策の充実を図ることで「若者の定着・増加」を目指します。